

(5) 音楽活動の開始(寺院楽団、男声合唱団等の結成)

一番興味深いのが、俘虜のエンゲルを中心に楽団を結成し26回もの演奏会を開催していることです。

また、男声合唱団も2団体結成され「収容所合唱団」として独自のコンサートも開催し活発に活動しています。



丸亀保養楽団(エンゲルオーケストラ)
中央がパウル・エンゲル

(6) 丸亀収容所から板東収容所へ

彼らの音楽活動は、丸亀の収容所から始まり、その後、徳島の板東俘虜収容所へ移り、そこでも音楽活動が盛んになりました。この丸亀ドイツ兵俘虜の活発な音楽活動が、徳島の板東収容所で集大成され、ドイツ兵俘虜による日本における第九初演につながっていったと思われます。

この「第九」初演の時、丸亀収容所の二つの合唱団が「合唱」を担当し、特に第7中隊の後備伍長であるJ. コッホは、ソロのバスパートを歌ったと言われています。

「第九」源流のまち丸亀

～中国の青島 → 丸亀収容所での音楽活動 → 板東収容所での集大成 → 第九初演～

丸亀ドイツ兵俘虜楽団の足跡を辿る音楽フェストの活動

丸亀ドイツ兵俘虜楽団の足跡を辿る会では、その足跡を辿り、音楽を通じて世の中に潤いを与えることの大切さを教えてくれた彼らの功績をたたえ、これを風化させることなく「丸亀ドイツ兵俘虜楽団の足跡を辿る音楽フェスト」を開催しています。

この音楽フェストを通じて、より多くの市民に参加していただき「地域住民参加型事業」として市民文化の向上を目指し、丸亀市の文化振興のみならず観光振興、国際交流等総合的な市民が主役の文化による人づくり、まちづくりを進めていくものです。

主な音楽フェストは、下記のとおりです。



ビールとドイツ音楽の夕べ
(8月開催/丸亀市民ひろば)



まるがめ第九プレコンサート
(12月開催/本願寺塩屋別院・現存する収容所跡)



まるがめ第九演奏会
(12月開催/丸亀市綾歌総合文化会館・アイレックス)

○参考文献 丸亀ドイツ兵捕虜収容所物語/香川近代史研究会(丸亀ドイツ兵俘虜研究会HP)

○写真 多度津港へ入港時は香川近代史研究会所蔵、他は鳴門市ドイツ館所蔵